



# こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442

日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130

市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2018年10月14日号

## 無いのは財政ではなく市民の暮らしを思う市長の気持

### 危機は危機でも、憲法逸脱政治こそが政治の危機

#### ▼井上議員の市議△云本△云議質問より

9月27日の市議会本会議の質問で、井上議員は、社会保障や中小零細企業対策、文化行政等の他、財政問題について市長に迫りました。そのポイントを紹介します。

①渋滞を口実とした道路拡幅や「賑わい施設（大型のホテルや商業施設等）」優先の開業などムダづかいをやること、

②資産家への優遇減税をやめれば税収は増える、

③「国も財政が大変」などと言っていないで、批判と国への運動を強めること、

④国では、市以上に大型事業や軍事費、政党助成金など削るべきムダが多いこと、大企業等への優遇減税をやめれば税収も増えること、

⑤従って「国も大変」論は国の責任を免罪し、問題の所在をあいまいにすること、

⑥憲法で言う平等原則を税金の集め方に当てはめると、「高い所得からは高い税率で低い所得からは低い税率で」となるのが真の平等なのに、我が国ではむしろ逆になっており、憲法原則から逸脱している。軍事費の拡大も然り。

⑦従って税金の集め方使い方を考えさえすれば、財政は危機でも何でもないので、むしろ社会保障費を削るために

め口の口実にされてはいない。ダメされてはいない。

⑧歪んだ財政や軍備拡大、国民の健康で文化的な生活を保障しない憲法逸脱政治こそが「政治の危機」、「為政者の危機」と言うべき。

⑨無いのは財政（お金）ではなく、市民の暮らしを慮る（おもな）市長や首相の気持ちである。

▼市長は答弁を避け副市長が答弁。曰く「わが国は、消費課税や所得課税等を組み合わせること、公平公正かつ均衡のとれた安定的な税体系の構築が図られている」

▼井上議員の感想「まさに『病膏肓に入る（やまいこうこうにいる）』と言うべき（病気が重くて治らないこと）」

## 1mm対100km!?

### 国の財政は大変でない、事例

京都新聞によると「トヨタの社長の報酬は3億8千万円」、「大企業の内部留保は約446兆円だが労働分配率は下落が続き、個人消費の活性化がおぼつかない」等々。3億8千万なら月3160万、一日105万円。富裕層減税をやめれば税収は増える。また446兆円を仮に人口割で全国の市町村に分配すると、京都市では5兆円超（市の一般会計は年間7千億円規模）。この400兆円を、例えば年収400万円の世帯と比較する棒グラフを書こうと思ったら、グラフの長さは、400万を1mmとすると、400兆は100kmで、丹後までグラフを書かなければならないことになります。



下南健康まつりを見学(10/6)

## 最近の相談から



◎家主さんから  
らです。年金が少ない高齢・単身の店子さんの家賃滞納が続いていいます。「友人だから堅いこと言わないで」とケムに巻かれています。退去をうなずかれています。

◎市民の客が、レジ袋のゴミを地域のゴミ回収場所に捨てようとする。民泊の中へ戻しても通報。井上議員からも市に指摘。

◎先日の台風で瓦が飛んでしまった。←瓦屋さんで依頼中ですが引張りだか状態ではない状態です。大きな被害なら市から補助金が出る場合もあります。

みんなの力を集めて暮らしをまもり健康な街づくりをすすめよう!

## 秋まつり

10月21日(日)  
午前10時～午後3時  
春日公園

入場無料  
商売の場合9.5割優待で開催します。

みんないっしょに秋まつり  
健康づくりをしよう  
健康づくりをしよう  
健康づくりをしよう

200人以上にわたる大抽選会  
抽選券は100円(抽選付き)  
抽選券は100円(抽選付き)  
抽選券は100円(抽選付き)

主催：京都市健康づくり実行委員会 協賛：西宮サンワイン工業  
後援：京都市健康づくり実行委員会、京都市健康づくり実行委員会、京都市健康づくり実行委員会

